

ペーパークラフト

みやこひらつかこふん

宮古平塚古墳出土埴輪 3種

宮古平塚古墳（奈良県磯城郡田原本町大字宮古）は、最近の発掘調査で確認された造り出し付の方墳です。墳丘本体は1辺20m前後と考えられます。

この古墳からは、太鼓形埴輪をはじめ、多数の形象埴輪が出土しました。今回新たにペーパークラフトとなつた3点は、盾形・石見型・鞍形埴輪です。



石見型埴輪（下）と鞍形埴輪の出土状況



石見型埴輪



ゆぎ
鞍形埴輪

盾形埴輪は、鋸歯文と網代文で飾られています。

石見型埴輪は、三宅町の石見遺跡でみつかったことからその名がつけられました。玉杖の飾りをかたどつたもの、という意見が有力です。上半に装飾の線刻がみられます。

鞍形埴輪の「鞍」は、弓矢の束を背負うための入れ物です。線刻で弓矢5本が表現されています。丸い粘土が鏃の根元に張り付けられているのは鏃矢を表現したものかもしれません。